

「読み書き」の土台は「ことば遊び」から

文字の練習の前に大切にしたいこと

◆「話しことば」をはぐくむ

「あのね、ほいくえんで〇〇したよ、そしたら〇〇で…」と、思いめぐらし、ことばをつないで話す経験は、話したいことや話し言葉を豊かにします。こうした経験は、筋道立てて話す力や、書きことばの土台になっていきます。大人は、先取りや急かさず、こどもの目線に立ってゆっくり話を聴きましょう。

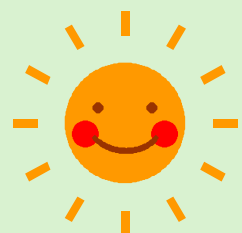
◆「ことば遊び」で、ことばへの意識を高める

- ・言葉(単語)は音の粒の連なりからできていることに気づくこと
例、「りんご」⇒「り・ん・ご」の3つの音からできていることがわかる
- ・音の粒を操作できること
例、「こま」を逆さに言ったら何? ⇒「まこ」



話しことばをはぐくんで、書きことばへ

子どものペースがあります。
興味に合わせて進めましょう。



話しことば

文字の読み

文字を書く

書きことば

幼児期後半

学齢期



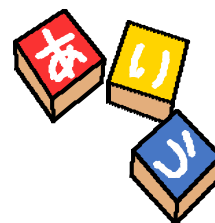
話しことばを豊かに



- ・絵本の読み聞かせ
親子でのコミュニケーションの一つとして、話し言葉を豊かにしよう。
- ・話したいなかみとなる、日々の心動く体験を大切にしましょう。
- ・話しやすい雰囲気をつくり「もっと話したい」との実感や意欲につなげましょう。
- ・「今日どうだった?」のように漠然とした質問は「わからない」「忘れた」となりやすいです。こどもが答えやすいよう、具体的にたずねたり、興味あることを話題にしてみよう。
「今日〇〇したの? 楽しかった?」
「今日嬉しかったことを一つだけ教えて」

お家でできる! / ことばを楽しむ遊び

- ・ことば集め
『あ』から始まるものあるかな?
- ・しりとり
短い言葉から始めましょう
- ・たぬき遊び
「げんこつ山のたぬきさん」の歌で、「た」の文字を抜いて歌う。
「まつぼっくり」の歌で、「さ」の文字を抜いて歌う。
- ・グリコじゃんけん
- ・音いくつ?
言葉を手拍子に合わせて区切ります
「た・ま・ご」(パン・パン・パン)



「あめ」
「アイス」
「あり」



3つ

